



通刊 100 号記念号

プラスチック 中部

平成25年6月14日
www.chubu-pla.or.jp

一般社団法人
中部日本プラスチック製品工業協会
愛知県プラスチック成形工業組合
〒456-0058 名古屋市熱田区六番三丁目4番41号
(名古屋市工業研究所管理棟4階)
電話(052)654-8155 FAX(052)654-8140
E-mail: info@chubu-pla.or.jp

協会・組合が通常総会を開催

三井住友信託 花田氏を迎え講演会

優秀従業員13名を表彰



挨拶する後藤会長

協会及び組合では、5月29日午後から名古屋国際ホテルを会場に通常総会を開催。上程議案はいずれも異議なく承認された。

また総会に引続き『第8回優秀従業員表彰』

では、企業推薦を受けた13名が表彰された。なお総会前の講演会では、講師に三井住友信託銀行花田普氏を迎えテーマ「内外経済環境の現状と見通し」を聴いた。

組合の第49回通常総会で鈴木理事長は、当組合の活動は人材育成に力を入れており、技能検定がその柱となっている。昨年も受検者数は913名のほり、引き続き今年も取り組みに傾注したい旨述べた。議案については、いずれも原案通り承認された。



挨拶する鈴木理事長

次いで開催された協会の総会は、通算第42回目。後藤会長は挨拶の中で、今年4月に一般社団法人に移行し初めての総会であり、審議共々よろしくお願ひしたい。昨年は協会創立55周年記念事業をはじめ活発な事業を展開し、名古屋プラスチック工業展においては、外部からも評価をいただいた。プラスチック業界の現状においては、円安にふれて国内回帰も若干は期待でき、公的機関の助成制度も有効利用し、自己努力を重ねながら進んでいきたい旨述べた。引続き、議長席に着き議案審議へ移り、全議案原案通り異議なく承認された。

この後、優秀従業員表彰式、講演会と進められ、会場を移動して行われた懇親パーティーで



通常総会



コミュニケーションが図られる懇親会

は、鈴木理事長の開会挨拶の後、名古屋市工業研究所平野所長の乾杯で懇親に入った。盛会の中、壇上では恒例の被表彰者へ似顔絵が贈られ、中部プラスチック連合会勝山会長（三協化成産業）の「厳しい状況の中であるが、自身の足元を固めることに鋭意努力したい」旨の言葉と、力強い中締めで終了した。

「アベノミクス」効果は？

講演会で内外の経済情勢を聴く

講演会は、三井住友信託銀行調査部花田普氏を講師に迎え、テーマ「内外経済環境の現状と見通し」について、熱心に聴講した。

進む円安と株高で「アベノミクス効果」への期待は高まり、消費者のマインドもそれに伴っている。2013年1-3月期のGDPは、+3.5と高成長を遂げている。日本経済の実力で達成できる経済成長率は、0.5～1%強と言われており、この高い成長率は陸上競技に例えて言えば、普段100mを13秒で走っているのを11秒で走ったのに匹敵するぐらいの高さである。この成長の要因となったのは個人消費の伸びで、実際にお



熱心に聴講する講演会



三井住友信託銀行調査部
経済調査チーム長

花田

熱弁をふるう花田講師

金が動いたことを示している。講師はこう現状を説明し、「アベノミクス」は賛否両論あるが、その判断は時期尚早として、今後の展開について見解を述べた。

「アベノミクス」の三本の矢といわれているのは、『大胆な金融緩和』『機動的な財政政策』『民間投資を喚起する成長戦略』の三つ。日本銀行の動きに触れながら「量的・質的金融緩和」について話し、エコノミストの間でも話題となった『マネタリーベース・コントロール』の採用など、ポイントとなる点を掘り下げた。

取り巻く海外情勢にも触れ、米国は「サブプライムローン問題」「リーマンショック」からの立ち直りの兆し。欧州は抱えていた債務問題から金融市場が落ち着き安定しているなど、見解を示した。また、アジアについては中国の経済成長率は8～9%から7～8%くらいへ、若干の減少が予測されるとした。

最後に、2013年度の国内総支出は2.4%（季調済前期比）との見通しを発表して、講演を閉じた。



三井住友信託銀行

名古屋営業部 TEL.052-242-7311
〒460-0008 名古屋市中区栄3丁目15番33号 栄ガスビル



第一実業株式会社

本社 東京都千代田区二番町11-19 ☎102-0084 ☎ダイヤルイン・東京(03) 5214-8500
大阪支店 大阪市北区天満5丁目14番10号(梅田UNビル) ☎530-0047 ☎ダイヤルイン・大阪(06) 366-2800(受付案内台)
札幌支店 札幌市中央区南一条西3丁目8番地(礼石ビル) ☎060-0061 ☎(011)241-2435(代表)
名古屋支店 名古屋市中区錦2丁目3番4号(名古屋駅前フロントタワー) ☎460-0003 ☎(052)201-5471(代表)
広島支店 広島市中区中町8番12号(広島グリーンビル) ☎730-0037 ☎(082)248-0295(代表)
営業所 仙台・静岡・四国・福岡
出張所 滋賀・北関東

『第8回優秀従業員表彰式』挙行 被表彰者13名に一層の活躍期待

『優秀従業員表彰式』は、各事業所の発展に寄与し、多大な功績のあった従業員を事業所の推薦により表彰するもので、今回の被表彰者は13名。後藤会長は、「各社事業主さんから推薦された皆さんの労をねぎらいお祝いしたい。本日を通り点として、今後一層の活躍と飛躍を期待したい」旨お祝いの言葉をおくり、会長自ら各被表彰者の席の前に立ち表彰状を手渡した。

表彰の後は、中部経済産業局産業部産業振興課加藤課長、愛知県産業労働部産業振興課丹羽課長より祝辞があり、被表彰者を讃え、更なる研鑽と、職場・会社の繁栄、業界の発展へのはなむけの言葉が贈られ、以上で閉会した。

【優秀従業員被表彰者】

山根徹（オハラ樹脂工業）、木田健志（オプコ）、右田和徳、奥村隆（ゴトープラスチック）、松下田久江、粕谷通子（三扇化学）、稲垣行則、宮本稔（大喜プラスチック工業所）、秋田吉昭、中村詩子（タイセイプラス）、東海達（千代田合成）、塩屋健一（名古屋精密金型）、横井博人。（敬称略、企業名50音順）



被表彰者と関係者の皆さん

オハラ樹脂工業株式会社 営業グループ ゼネラルマネージャー 勤続31年 山根 徹（ヤマネ トオル）



この受賞は会社の業績に貢献できた証と思い、まずは妻に報告したいです。入社間もなく、当時学校の先輩でもあった上司から「5分前に現場に入り、準備しなさい」と叱られ、時間の大切さを教えて頂いた事が懐かしい思い出です。

今後は勤続30年の経験を基に、若手社員に会社の歴史や、技術的に足りない部分を含め、自分の持てるものを伝え、継承したいと考えています。

株式会社オプコ 製造部 部長 勤続20年 木田 健志（キダ ケンジ）



オプコが少しでも大きな会社になれば、という一心で入社から20年間仕事に従事してきました。今回の受賞は真面目に勤めてきた結果だと受け止めており、どこかの選手じゃないですが、自分自身を褒めてあげたいと思います。

今後は国内生産と海外拠点、双方の会社が社会に貢献できればと考えており会社で培われたマネジメント力を大いに発揮し、活かしていきたいと思っています。

ゴトープラスチック株式会社 省力化機器セクションリーダー 勤続14年 右田 和徳（ミギタ カズノリ）



今回の受賞は、まずはいつも支えてくれた妻に感謝し報告したいと思います。入社時に成形を担当していたので、加工機製作に移ってからも、作業員目線を忘れない加工機の使い易さが評価され、受賞に至ったと受け止めています。ヒトに喜んで頂くことを第一に、今後は加工技術を磨いていきたいと思っています。

副賞の使い道は、二人の子供が喜ぶ何かを買ってあげたいと考えてます。

ゴトープラスチック株式会社 製造第1セクションリーダー 勤続13年 奥村 隆 (オクムラ タカシ)



まずは、今朝も自宅から普段通り送り出してくれた妻に受賞を報告したいです。

前の会社で押出成形を経験していた事が自分の技術の礎になり、現在のブロー成形に活かされていると実感しています。

今後は、不良低減という永遠の課題への取り組みを進めながら、自分の技術が会社に、そして社会に貢献できれば、と思います。

三扇化学株式会社 製品2係 組立グループ 勤続14年 松下田 久江 (マツゲタ ヒサエ)



こんな賞をいただけるなんて、日々努力して来たつもりですが考えもありませんでした。一般事務の経験があるとはいえ、専業主婦を経てからの工場勤めには一言では言い表せない思い出が沢山あります。

今回一緒に受賞した粕谷さんとは一緒に仕事した事もあるし、若いけれど私の先輩。今後も新人さんの教育をしっかりやっていきたいと思っています。

三扇化学株式会社 品質保証 係長 勤続15年 粕谷 通子 (カスヤ ミチコ)



成形品の検査、組立等を経験して来ましたが、受賞の喜びは、帰りが遅くなっても理解してくれる家族に伝えたいです。もっとも、娘には「母さんなんか貰えるの？」なんて冷やかされました。

その娘にも子供が出来て、今は孫が私の生きがいですが、仕事の上では、若い人に自分の経験を短期間で理解してもらえよう様にがんばります。

株式会社鈴木化学工業所 製造部 成形課 GL 勤続24年 稲垣 行則 (イナガキ ユキノリ)



実は、今年の正月に社長達と麻雀卓を囲んでいたら突然「推薦するぞ」と言われ、「ハイ！」と喜んだものの気持ちは上の空で結果は散々でした。

前の仕事はトラブルシューティング専門でしたが、当社に入って製造から金型まで幅広く勉強させてもらって感謝しています。

今後は、自分のノウハウを若い子にうるさがられても伝えていきます。

株式会社大喜プラスチック工業所 製造部 設備保全G 勤続27年 宮本 稔 (ミヤモト ミノル)



運転手として入社以来、保全、製造を経て部長まで経験し、今は役職を離れましたが、元々探究心旺盛で、金をかけずに工夫次第で改善できる喜びを後進に伝えるのが今の私の役目です。

今回の受賞は家庭の事情で息子に伝言したけれど……副賞は、これまで何にもしてやれなかった別れたかあちゃんにあげたいなあ……。

株式会社タイセイプラス 本社工場 副製造長 勤続11年 秋田 吉昭 (アキタ ヨシアキ)



会社では改善担当として、成形と加工の現場一体化に取り組んでいます。チームリーダーとしてメンバー間のコミュニケーションをどうとるか、正直、年上の方には言いづらい部分もありますが、会社の野球チームの練習後など、話しやすい雰囲気の中で知恵と経験を授けてもらっています。副賞は、マイホーム購入の前祝いでもしようと思います。

株式会社タイセイプラス 製造部 事務 勤続11年 中村 詩子 (ナカムラ ウタコ)



とにかく、手配漏れとか、現場の人が困らない為にはどうするかという事ばかり考えて、仲間に悩みを相談し、助けてもらいながらやって来ました。主人は会社転籍・単身赴任して2年目なので「自分より長く勤めて認められるなんてがんばったね」と今朝メールをくれました。副賞は豪華な食材を奮発して、家族が集まった時の手料理に腕をふるいます。

千代田合成株式会社 生産部 主担当 勤続33年 東海 達 (トウカイ サトシ)



こんな賞をいただいたのは、不器用ながらコツコツと粘り強くやってきたからでしょうか…。以前品管にいた時、小さな事でも足繁くお客様の元へ出向き、「また来たか」と苦笑された事を思い出します。結局、品質も最後には“人”ですから、後輩達にも“あきらめずに食い下がる気持ち”を伝えていければ、と思っています。

株式会社名古屋精密金型 本社 メンテナンスサービス部 課長 勤続21年 塩屋 健一 (シオヤ ケンイチ)



自動車整備工だった自分を採用して下さった会長と、遅く帰っても手料理で迎えてくれた妻に、ただただ感謝、です。当時の部長に教え込まれた「上司を動かしてはいけない」の精神で先頭に立ってがんばって来ましたが、いざ自分が上司になってみると…やっぱり自分が動いてしまうので部下は大変でしょうね…。

株式会社名古屋精密金型 本社 製造部 製造課 課長 勤続20年 横井 博人 (ヨコイ ヒロト)



受賞にあたって、妻、上司、部下…自分を支えてくれているみんなの顔が浮かんで来ます。若い部下を持つ身になってみると、一作業だけの“オペレーター”ではなく、全体を俯瞰できる“型屋”にどう育てるのか、そこに自分がどう関われるのか…。様々なギャップを埋めていくのが、これからの自分の課題ですね。

連合会第52回通常総会

全議案原案通り可決

全日本プラスチック製品工業連合会第52回通常総会が6月6日午後3時から、東京都千代田区の東京會館で開催され、35名が出席した。中部から、理事、総会代表、事務局など合わせて12名が出席した。

齋藤会長の挨拶に続いて議事に入り、上程議案全てが原案通り可決承認された。休憩の後、経済産業省化学課との情報交換会が開催され、課長補佐の田中秀明、係長の平石美樹子両名の出席を仰いだ。田中課長補佐より「成長戦略の基本的考え方」、茂木大臣発表の「緊急構造改革プログラム」、平石係長より「補助金制度」の概略説明の後意見交換に移り多くの質問が寄せられた。意見交換会終了後会場を変えて懇親会が開催され、冒頭齋藤会長の挨拶（要旨別掲）に続いて後藤副会長の乾杯、歓談が進むなか、最後に林田副会長の中締めで閉宴となった。



議案審議が進められる議会

《齋藤会長挨拶要旨》会長をお引受し、あっと云う間の1年間で月日の経つ早さに驚きを禁じえません。同時に会員皆様のご期待に応えられた連合会活動が出来たのか自問自答しているところでありますが、皆様から戴いたご支援ご協力に重ねて感謝を申し上げます。

さて日本経済は円安と株高により金融市場における環境面で大きく変化しました。实体经济におきましても自動車産業をはじめとする輸出関連企業の業績が大きく改善しています。ここきて株価や為替に反動等が見られますが、こ

れも一時的なものとの予測が大半を占めているようです。一方で、輸出関連ではありますが、電子部品などではアベノミクスによる効果が実感できていないと言われておりますし、



挨拶する齋藤会長

輸入関連製品や素材に関しては相次ぐ値上げが打ち出されました。我々業界においては材料の値上げや、電力料金の値上げなどで依然として厳しい経営環境にさらされているのが現実であります。そして今、多くの産業界が期待を寄せているのが3本目の矢である、成長戦略であります。中小企業はじめ我々プラスチック産業に「恵みの矢」と、なるような施策を切望するものであります。

5.28日経記事に、経産省が予算縮減で中断していた工作機械の国内設備投資調査結果が出ておりました。中小企業では設備の老朽化が加速し、近年設備投資を進めなかった結果、生産に支障来たすとの回答が多くみられ（30%）、足元では円高修正が進んでいるが中小企業の設備投資への動きは鈍い。設備投資の拡大に向けて政府に求める対策は？との質問回答では、設備投資への補助金（33%）や法人税軽減（18%）といった回答が多く占めていました。本格的な景気回復には投資を考える企業の背中を押す政策が必要であり、6月にまとめる成長戦略に向けて政策の具体化を急ぐ、との経産省幹部談でした。一部にはこの度の「ものづくり試作・開発支援策」の影響から設備投資が上向き傾向にあるとの声があります。

連合会は本年12月に創立50周年を迎えます。厳しい環境下ではありますが、諸先輩の方々苦勞して築き上げた50年の歴史に恥じない活動が出来ればと考えております。会員の皆様に役立つ情報発信や、技能・技術の向上、人材育成など、連合会として取り組む課題がたくさんございますが、皆様のご支援、ご協力を賜りながら事業を推進してまいり所存でおります。

スケッチ

『モノ創り』を通して成長する企業へ

瀬川化学工業株式会社

代表取締役 瀬川 憲

瀬川化学工業株式会社（本社：名古屋市南区豊田一丁目33-16）は、昭和32年12月に名古屋市南区において創業し、昨年65周年を迎えた。現在は、本社（経理部門）のみ名古屋市南区に置き、工場はすべて愛知県高浜市へ移転し、操業している。

創業以来射出成形を主として、現在は自動車部品、他中・小物部品の成形・組付けを行っている。また、3年前の工場の移転を契機に、これからの企業としての在り方を改めて見直し、それ以降は財務から組織、そして人材に対して改革を行い、日夜頑張っている。

【経営理念】 共に成長する

【行動規範】 誠実・創造・実践



経営理念の『共に成長する』は、「モノ創り」を通し、これからの時代に生き残れる企業への成長、そして社員及び縁ある人々全てが成長するようにという意を込めている。

現在は「モノ創り」より管理技術が優先される時代になりつつあるが、もちろん管理技術も大切であるが、「モノ創り」から管理技術へ、さらに「モノ創り」から成長へと、「モノ創り」を忘れない企業としてこれからも事業に取り組んでいく方針である。

高浜工場：愛知県高浜市芳川町3丁目1-1
TEL (0566) 54-5800 FAX：(0566) 54-5801
〔保有機械数〕 60ton～100ton8台 100ton～200ton9台 200ton～300ton3台 350ton6台 450ton2台

【ギヤー製品】



【ボディシーリング製品】



ウェザーストリップ

雨水や外気を防ぎ、騒音を遮断する製品です。

未来素材をオーダーメイド
エンプラのトータルサプライヤーKASAGI

 笠置産業株式会社

本社：名古屋市東区泉一丁目17番24号 〒461-0001
TEL(052)962-9500 FAX(052)972-7986
営業所：浜松・豊川・諏訪 工場：豊川

ひとりひとりの人生に

みらい創造力で、保険は進化する。

 **日本生命**

ニッセイとあなたの、
あたらしいカタチ。

年24・H・753 証券登録

「愛・地球博」へ寄贈

ガーデンテーブルとチェア

3月25日待ちにまった愛・地球博が開幕した。当協会・組合からプラスチック製のガーデンテーブルとガーデンチェア250セットなどを寄贈し、会場内のレストランの屋外共有スペースや休憩所に活用されている。

第51号

会長が中心になって地元愛知県ででもいから参



来場者に品を行渡した。見学を訪れた

プラスチック中部 100

中部プラだより
プラスチック中部

中部

第22号

第22号
平成10年3月25日



平成17年4月14日

愛・地球博には憩いをもたらし、セントレアからは中国視察へ。名古屋が特別元氣な年でした。

ソニ生を教えた技能検定。

初の外国人『補佐員』さん

第12号

モハメド アブドゥラー

MOHAMMED ABDULLAH

印度カルカッタ出身



技能検定実技試験5号機(2級)の補佐員として外国人が登場。技能検定始まって以来のことで周囲もびっくり。すこし戸惑いぎみだったご当人も、7月下旬に2回目の出務をしたときは少しは慣れ落ち着きをみせる。

話題の主はモハメドアブドゥラーさん(1997年)印度カルカッタ出身。プラスチックの技術スタ

平成7年9月25日
国際化の波はこの頃から。

16日 プロー検定機据付
よる外
で、かね
希望をも
工業の事業
る人材と見
3年半、縁
実技試験に
日本での
気持にも
き会社に
へ出かけ
アブ

平成10年3月25日
プロー検定開始。
意外と歴史は浅いのです。



平成18年2月号
新年会のハワイアンバンド。
もはや定番です

プラスチック中部
創刊号

級62人・2級

技能検定合格者の発

10月13日に平成4年度技能検定前其格者発表があり、プラスチック成形業)で愛知県は1級62人、2級184人れ前年度を上回る成績をあげた。

蟹江孝子さん(名機製作所)
県下初の女性技能

合格者のうち当組合関係分は1級48...
...が名機製作所の蟹江孝子...
...県下で初の女性技能

プラスチック成形技能士を目指す人のための
受検資格 (但し昭和55年度の方)

昭和56年3月15日
まずは、技能士の育成が
急務でした。

分

2級の技能検定の受検に必要な実務の経験年数	1級の技能検定の必要実務の経験年数
2級	2級

号のあゆみ

昭和56年3月～昭和59年3月
平成4年12月～現在続刊中!!

プラスチック製品の有用性アピール

プラスチックの日の事業

マファイルを一般消費者に配

第34号

第54号

災害時における損害保険の適

総務委員会が主催

東海豪雨を契機に勉強会開く

名古屋市工業研究所で、損害保険代
の橋本祐次専務を講師に迎え、
における損害保険」の勉
総務委員会の

るか、適正な保険金額（補償
た各種の割引制度を利用し
減
が

平成13年3月14日
東海豪雨で、危機管理にも
目覚めました。



街頭でのクリ

平成17年11月14日
街頭で直接、消費者の皆さんと
ふれあいました。

修了証書を授与

向上訓練2級技能士課程
養成訓練普通技能士課程

第3号

向上訓練2級技能士課程（6期生）と養成訓練
普通課程（1期生）の各修了式は4月4日午前11
時から当事務所三階会議室で一緒に行われ、前田
勉校長から、それぞれ、修了証書が手渡された。
出席した訓練生たちは証書を手に喜び一杯の面持
ち。また両課程とも成績優秀だった次の諸君に表
彰状及び記念品をそれぞれ授与した。

[向上訓練] 平山道一、木全高明、伊勢村昌
吾、柳原隆志、戸田伸一、前田成人
[養成訓練] 山本吉秀

平成5年6月14日
職業訓練校一期生の皆さん、
現場でバリバリで活躍中と思います。

『ドラゴンズ快進撃』

今年の技能検定実技試験も6月より始ま
り、残り少なくなった今日まで、無事消化
されました。プロ野球ペナントレースも
いよいよ最後の佳境に入った昨今、今

平成11年9月号
さすが名古屋としが
言えません……。

義援金182万円

< 組合96社から >
心温まる寄託

第10号

組合が正会員各位に募金（111万円）を呼び
かけましたところ、期限の2月10日までに青年経
営者研究会からの寄託分5万円を加え96社からの
温かい義援金は172万円に達しました。これに協
会の10万円（本会計から支出）を合わせ総額182
万円、全平均点51（ほかに利息225円）となりました。2月16
日、本部会と総務委員会がもたれて協議の結果、
金額配分とお届け方法がそれぞれ決定

尾

西日
工

平成7年3月21日
阪神大震災の被災地へ、皆様からの
温かい支援がありました。

平成4年12月14日
プラスチック中部に衣替えて、
早速女性技能士の誕生です。

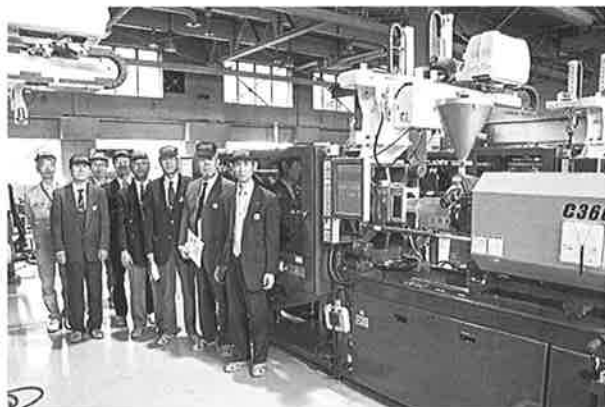
住友重機械工業千葉製造所訪問

技術委員会 全自動成形機の組立など見学

4月25日技術委員会の企業視察事業として住友重機械工業(株)千葉製造所プラスチック機械事業部を訪問した。福岡委員長を始め5名が参加した。予てより見学先として候補になっていたが、今回SE-EVシリーズが優秀省エネルギー経済産業大臣賞を受賞したのを機に実現した。

到着後、会議室で平岡プラスチック機械事業部長より歓迎の挨拶を受けた後、成形機の組立工程等を見学した。昼食を挟んで午後から、SE-EVの製品紹介とzero-moldingについてプレゼンを受けた。その後SE100-EV成形機でのスマートキーの成形試作を見学、低圧力充填、低型締力成形によるメリットを検証した。その後質疑応答を経て3時過ぎ視察を終えた。

事業は射出成形機、射出吹込成形機、IC封止装置製造、中でも射出成形機SE-EVシリーズはゼロモルディングをコンセプトとした全電動式成形機である。ムダ・不良・面倒を限りなくゼロに近づける統合技術アプリケーションであり、低圧力充填・低型締力成形・簡単操作の3つの技術要素から成り立つ。リニアガイド式プラテンサポートにより金型重量のタイバーへの加重軽減。それによる金型平衡度変化削減(75%)、消費電力削減、駆動部品の低慣性化、摩擦低減により従来機比25%削減。青木固賞受賞のSLスクリュアッセンブリの組み合わせによる低せん断可塑化によるガスショート低減、樹脂滞留低減スクリュ形状等いくつかの特徴があげられる。



SE100-EVでの試作を見学

(福岡委員長所感)

予てより工場見学の計画があったがこの度ようやく実現できた。成形機メーカーとしては48年目の歴史で、当初はスイス、ネスタール社との技術提携のもと設立されたと聞いている。21年前に技術提携は解消し以降、100%自社技術で製作されている。特に、全電動式に移行してからは販売台数も飛躍的に伸びて国内メーカーの上位に躍り出した生産能力は日当たり8台のペースで組立完成されており、組立開始より完成までに要する時間は65時間である。主として18トン～450トンまでの汎用機、特注機がところ狭しと並ぶ。納期3.5ヶ月だそうだ。対応された幹部の方々はもとより、各工場の社員の方々すべてが丁寧に挨拶をされて恐縮した。社員教育の質の高さを感じた。テクノロジーセンターの研究開発による圧倒的な技術力に裏打ちされた高精度、高機能、高信頼な製品を世に送り出している。コスト、品質、納期に縛られている我々中小企業は、これらの優秀な機械を如何に使いこなし、利益するかが重要ではないか。

終わりに当り、お世話になりました関係各位に御礼申し上げます。

PLASTICS WORLD
YAMASO

山宗株式会社

本社 名古屋市北区大曾根1-6-28 〒462-0825
TEL.(052)913-6131 FAX.(052)913-6138
東京支店・静岡本社・福井本社・香港・上海
営業所 岐阜・三重・豊橋・松本・甲府・埼玉・西東京
茨城・浜松・沼津・金沢・富山・大分・京浜・京滋

NEW NEX シリーズ

次の世代につなげるために!



NISSEI
P

おかげさまで創業65周年
日精樹脂工業株式会社
<http://www.nisseijushi.co.jp>

■東海営業所/〒485-0039 愛知県小牧市外堀 2-167 TEL.(0568)75-9555(代)
■岡谷出張所/TEL.(0564)52-1430 ■三重出張所/TEL.(059)272-4065
■本社・工場/〒389-0693 長野県埴科郡坂城町南条 2110 TEL.(0268)81-1050

「共に歩む」正会員と賛助会員の交流コーナー

プラスチック中部では、正会員と賛助会員の交流を誌上で深めるため、『共に歩む』（賛助会員のコーナー）を掲載しております。今回は、住友重機械工業(株)を紹介します。

■住友の‘Zero-molding’ 不良、無駄、面倒をゼロへ

プラスチック製品の生産に欠かせない射出成形機。そのコンセプトである「Zero-molding」は、生産現場の問題を解決し、いかに効率的に成形品を生産できるかを極めるものです。低压充填を可能にしつつ充填バランスも改善、成形不良をなくし、無駄な型締力を排して金型を長持ちさせ、操作画面も一段をシンプルにして作業の手間を省きます。

これらの成果が認められ、平成24年度優秀省エネルギー機器表彰において最高の評価である「経済産業大臣賞」を受賞しました。当社が得意とする精密成形技術で、様々な分野の技術革新に貢献していきます。

型締力・射出圧力低減を実現した 全電動射出成形機 SE-EV

Sumitomo
SHI **DEMAG**

無駄・不良・面倒の3つのベクトルを限りなくゼロへと近付ける革新的な成形プロセス、Zero-molding。その特長は低い射出圧力と低い型締力による低エネルギー成形方法です。SE-EVシリーズは、Zero-moldingの効果を最大限に高めた機械です。



SE-EV
全電動射出成形機
型締力: 500~1800kN



射出成形機ラインナップ

SE-DUZ
全電動射出成形機
型締力: 170,290kN

SE-HY
ハイブリッド機
型締力: 2250~4410kN

SE-HDZ
全電動射出成形機
型締力: 2150~4410kN

SR-Z
全電動堅型ロータリー機
型締力: 490,730kN

SE-HSZ
全電動射出成形機
型締力: 2150~3430kN

SVM
電動堅型機
型締力: 170,490kN

SE-HP
超高速全電動射出成形機
型締力: 490~4410kN

Double Shot
電動二材機
型締力: 290~2740kN

CL7000
全電動大型射出成形機
型締力: 5390kN

SE7M
全電動マイクロパーツ射出専用機
型締力: 68kN

住友重機械工業株式会社 プラスチック機械事業部

中日本販売サービスG / 中部営業所 TEL: 052-702-3801 FAX: 052-702-3806
中日本販売サービスG / 静岡営業所 TEL: 0537-61-8880 FAX: 0537-61-8881

平成25年度 前期技能検定実技試験開始

今年度前期技能検定1・2級（プラスチック・射出成形）の実技試験が6月5日プラスチック成形技能検定場で始まった。

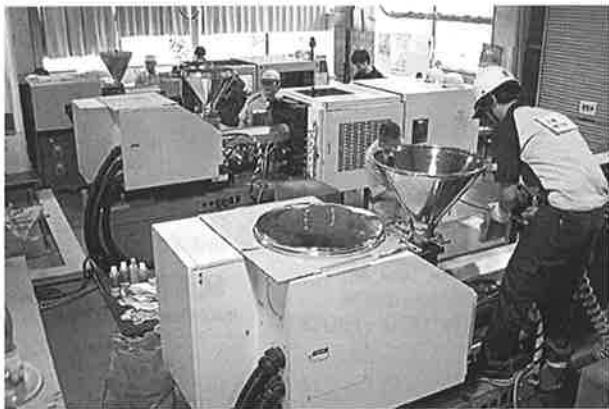
今年度の実技受検者数は、1級260名、2級565名合計825名で、昨年より88名減少となった。

試験期間は64日間、延べ319名の検定委員、補佐員が動員され、例年どおり2級は1日1台3名、合計1日15名の試験を実施する。

今年度も5月30日技能検定委員会議を開催し、採点基準に基づいて各採点項目毎の判定基準などを確認した。また、5月21日には昨年同様新任検定委員研修を実施し、12名の検定委員が参加した。実技試験を実施する検定機械を使用して作業の流れ、採点時の判定の方法などの他検定職務全般について原田検定委員長が指導を行った。

設備面では今年も金型2面を新調し、受検者が少しでも成形作業が順調に進み、結果として合格率アップに繋がればと期待している。

採点会議は9月10日に名古屋市工業研究所で実施する。



ホッパーの清掃



金型取付け作業

学科講習会開催のお知らせ

組合では、8月25日(日)に実施される「平成25年度技能検定」の学科試験に先立って、受験者の学習参考と合格率アップを目指して、下記予定で学科講習会を開催する。


日時	平成25年8月4日(日曜日)
	午前9時30分～午後4時30分
場所	名古屋企業福祉会館6階ホール 名古屋市中区大須2丁目19番36号(大須観音東側) TEL (052) 221-6721
講習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学科試験受験要領と心得 9:30～10:00 ・模擬試験 10:00～12:00 ・昼食 12:00～13:00 ・模擬試験の解説と質疑応答 13:00～16:00 ・担当講師 中部日本プラスチック職業訓練校 講師 林 盛彦 先生 ・模擬試験の採点結果発表 16:00～16:30

TOYO
Customer's Value Up
～お客さまの商品価値向上をめざす～

東洋機械金属株式会社 電動サーボ射出成形機 / 金型
<http://www.toyo-mm.co.jp>
中部支店: 〒465-0051 愛知県名古屋市名東区社が丘1-1202
TEL.052-704-4500 FAX.052-704-3980

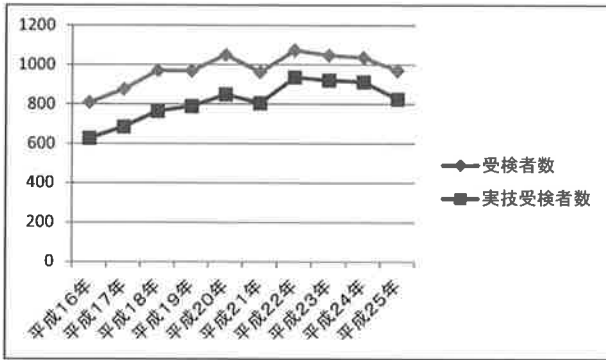
射出成形機とホットプレス機の製造・販売

射出機の「^{いま}現在」を創り、
「^{これから}未来」を変えていく。

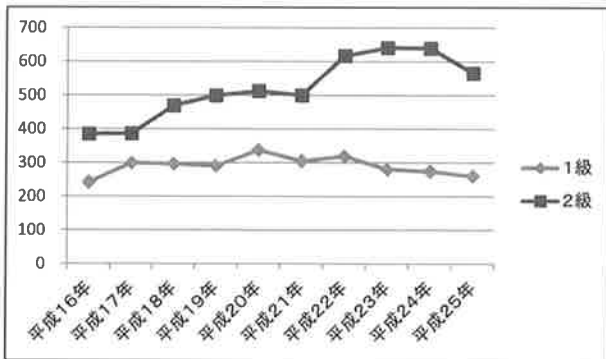
 株式会社 **名機製作所**

〒474-8666 愛知県大府市北崎町大根2
TEL (0562)47-2391(代) FAX(0562)47-2395
<http://www.meiki-ss.co.jp>

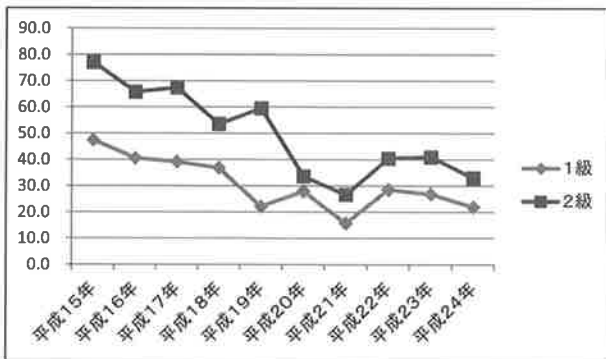
過去10年間の受検者数と実技受検者数



過去10年間の1級・2級実技受検者数



過去10年間の実技試験合格率（愛知県）



養成訓練・向上訓練合同入校式

中部日本プラスチック職業訓練校

愛知県認定中部日本プラスチック職業訓練校の平成25年度養成・向上訓練合同の入校式が4月19日名古屋市工業研究所で開催された。

はじめに後藤校長が「目的意識を持って勉強して行けば、自分の財産になります。グローバルな時代ですので、よその国に負けない技術を磨いて頂きたい。一年頑張ってください」と挨拶した。列席の講師より「座学で得た知識を実務に生かせる様しっかり勉強していきましょう」と激励の言葉が贈られた。

式の後、事務局より今後一年間の訓練スケジュールや注意事項などの説明が行われ、養成訓練は午後からプラスチック概論の授業が実施された。

今年度は、養成訓練(通学制)8名、向上訓練(通信制)1級7名、2級30名のスタートとなった。



入校式で挨拶する後藤校長

工業薬品・合成樹脂・食品添加物・包装材料

睦物産株式会社

〒450-0002

本社：名古屋市中村区名駅5丁目23番5号
TEL 052-571-5121(代) FAX 052-565-0346

支店：東京・大阪 営業所：静岡

ISONO いそのプラスチック材料

有限なる資源を限りない人生の幸福のために

いその株式会社

名古屋市東区相生町55 〒461-0012

TEL(052)931-1211(代)

FAX(052)930-1975

訓練生合同学習に参加

ジャパンマリンユナイテッドを見学

愛知県職業能力開発協会の主催する訓練生合同学習に参加し、6月21日にジャパンマリンユナイテッド(株) (旧ユニバーサル造船(株)) (三重県津市雲出鋼管町1-3) を見学した。

見学先の津事業所は、日本のほぼ中央に位置する伊勢湾に面した大型造船所で、ケーブルサイズバルクキャリアやスエズマックスタンカーでは世界有数の建造実績を誇っている。

〔見学レポート〕

(株)西浦化学：A.M

三重県津市にある造船所、ジャパンマリンユナイテッド(株)へ見学に行きました。創業は1968年4月。敷地面積は津事業所で約738,000㎡、技術研究所は約30,600㎡と広く(合わせると東京ドームの約2倍)、従業員数は関連会社を含めると3,000人との事でした。

この規模の工場へ入るのは初めてで、正直敷地の広さにピンと来なかったのですが、敷地に入った瞬間納得しました。平たい戦車のような車が、規格外の鉄の塊を運んでいるのを見たからです。その運搬車両は、タイヤが96ヶ付いていて、価格は特注のため1台1億円するそうです。そんな運搬車両の後ろを走りながら見学していき、次に説明を受けたのが各ブロックの塗装でした。塗装前は、錆びなど付着しているブロックですが、温度空調が管理されている工場では塗装をすると、綺麗に仕上がっていました。ただ、工場の中は見学出来なかったのが残念です。1つ1つのブロックが、最終的には長さ

300m以上の船になる…。生産管理の方すごいなと単純に思いました。その後、加工ドックや組立て中の現場、艀装(パイプやはしごなどを取り付ける工程)などを見学し、進水の場所へ。長さ300m以上もあり、普段は壁で海水を止めてある中で艀装されたブロックを大型クレーンで吊り上げていきつなぎ合せていく(ここから船の形になっていく)。完成すると海水を入れて船を浮かす工程になり、初めて船が浮かぶ記念の日になる。

外周の組立てが終了したら、今度は船内にある機器の運転、調節、室内の壁、椅子、机などの最終仕上げを行い、塗装の最終仕上げ(船の化粧直し)、海上試運転(富士の方まで行くそうです)を行います。全ての工程が終了したら、船に名前を付けてお客様へ納品。これだけの規模ですので、1隻生産するのに10ヶ月~1年かかるそうです。

すべてに於いて規模・スケールが大きく、ただただ驚くばかりでした。これからも工場見学など積極的に参加したいと思いました。このような機会を与えて頂きまして、感謝しています。



完成した船の前で記念撮影

 **株式会社 三幸商会**

取締役社長 若尾 剛

名古屋市千種区内山三丁目3番2号 〒464-0075

TEL (052) 733-5111(代) FAX (052) 733-5141

Sanko Shokai Co., Ltd

3-3-2, Uchiyama, Chikusa-ku, Nagoya, Japan

TEL: (052) 733-5111 FAX: (052) 733-5141

取出用ロボット・FAシステムの総合開発



★株式会社スター精機
名古屋支店

〒480-0132 愛知県丹羽郡大口町秋田3-133

TEL 0587(95)7557 FAX 0587(96)1291

浜松営業所 TEL 053(432)6131 富山営業所 TEL 076(492)3260
静岡出張所 TEL 054(289)2241

本社・工場 / 〒480-0132 愛知県丹羽郡大口町秋田3-133 TEL0587(95)7551(代)

出雲工場 / 〒699-0631 島根県出雲市斐川町直江3538 TEL0853(72)4311

<http://www.starseiki.com>

青年経営者研究会 通常総会

青年経営者研究会の第38回通常総会が4月26日午後6時より名古屋市中区の名古屋国際ホテルで来賓2名、会員18名が出席して開催された。

初めに川西会長の挨拶の後、出席状況の報告、精神斉唱、第1・2号議案の平成24年度事業報告・決算報告が原案通り承認可決された。次に役員改選が行われ、新会長にウサミ化成の宇佐美義則氏が選任され、就任した。続いて第4・5号議案平成25年度事業計画案・予算案の審議に移り、原案通り承認可決された。

議事終了後、来賓を代表してあいち産業科学技術総合センター産業技術センターの加藤和美化学材料室長から祝辞があった。

続いて懇親会に移り、名古屋市工業研究所平野幸治所長の発声で乾杯、和やかに歓談がすすむなか閉会となった。

平成25年度新役員

▽会長 = 宇佐美義則 (ウサミ化成)

▽副会長 = 瀨瀬英幸 (交吉プラスチック加工) ▽理事 (会計) = 児玉真弥 (三扇化学)、同 (書記) = 中村之則 (大京化学)、同 = 後藤真介 (ゴトープラスチック)、川西正克 (川西塗装)、大森晃 (松栄工業所)、内田直志 (内田化成)、鷺見圭一 (鷺見化工)、澤田俊也 (桂化学工業)、中村嘉久 (佐野屋産業)、原大輔 (原製作所)、原田繁樹 (中部エクストロン)、福岡寿郎 (名豊化成)、平松三千将 (ニットウ)、▽監事 = 久留健司 (化研) (敬称略)

会長就任挨拶

有限会社ウサミ化成
宇佐美 義則



経営者は企業を発展させなくてはならない。企業の発展は経営者自らの絶えざる研鑽と自

己啓発の統率力と確固たる信念にかかっている。我々若き経営者幹部は、本会を切磋琢磨の場として、近代経営者・より良き社会人たらんと努力を続ける。これは、青年経営者研究会精神の一文です。

この度、青年経営者研究会会長の大役を仰せつかり、あらためてこの文章を読み、経営者としての心構えを考えるきっかけとなりました。

我々青年経営者が、本会をよりよい活動の場とするためにはどうしたらよいか。諸先輩方が築き上げてきたものを活かしつつ、我々にしかできないものを考えて実践していく、それが会員たちの資質の向上につながり、結果的に業界の発展につながればと考えております。


まだまだ不透明な経済状況のなかであります。関係諸団体・協会・組合の皆様との連携・協力を図りながら、本会の運営をと考えております。

力不足の新会長でございます。会員皆様からのご指導・ご鞭撻をお願い申し上げ、ご挨拶に代えさせていただきます。

一年間よろしく申し上げます。

技術とハートがスパークする
ドラマチック創造企業

プラスチック、セラミックス、MIM金型

 株式会社 三洋製作所

本社工場 名古屋市緑区鳴海町下汐田177番地

TEL052-621-5238 FAX052-621-3501

生涯
設計

安心の絆を
つくる・届ける・広める

いちばん、人を考える会社になる。

第一生命

第一生命保険株式会社

ホームページ

<http://www.dai-ichi-life.co.jp/>

業界レポート

[協会・組合の動向]

▼理事会

- 4月17日**（名古屋市工業研究所） 31名
- (1)事務局より、協会、組合の平成24年度決算と平成25年度予算案修正について資料に基づき説明があり、審議の結果、原案通り全員一致で承認。
- (2)平成24年度通常総会および第8回優秀従業員表彰式および記念講演会の実施要領について、今回は3時から開催と事務局より説明があり、審議の結果全員一致で承認。
- (3)協会の一般社団法人の移行登記が完了したが、今後理事会は本人の出席が必要条件だが、総会は理事会で定めれば、欠席の場合は議決権行使書の提出で可能と説明があり、審議の結果全員一致で承認。
- (4)中部日本プラスチック職業訓練校の今年度の訓練生は養成訓練8名、向上1級は7名、2級は30名になったと報告。
- (5)その他、委員会、連合会、青年会、年金基金、事務局報告。

- 6月12日**（名古屋市工業研究所） 28名
- (1)第50回永年勤続優良従業員表彰の開催要領・予算案などについて、事務局より説明があり検討。審議の結果全員一致で承認。
- (2)平成24年度通常総会および、第8回優秀従業員表彰式収支について事務局から報告。
- (3)その他、委員会、連合会、青年会、年金基金、事務局報告。

▼平成24年度 通常総会

5月29日（名古屋国際ホテル）

〈詳細は本文記事参照〉

▼文化広報委員会

- 5月14日**（名古屋市工業研究所） 8名
- (1)第99号の反省及び第100号の企画・方針について検討した。
- (2)6月号で満了の本紙広告の次期継続のお願いと新規募集の案内を早急に実施する。
- (3)その他

◇支部会

第1・2合同支部会

- | | | | |
|-------|-------|------|----|
| | 5月16日 | 木曾路 | 8名 |
| 第3支部会 | 5月14日 | 鳥銀風月 | 7名 |
| 第4支部会 | 5月17日 | みかど | 7名 |
| 第5支部会 | 5月14日 | 栄太郎 | 6名 |
| 第6支部会 | 5月14日 | 蔦茂 | 9名 |
| 第7支部会 | 5月10日 | かに本家 | 6名 |
| 第8支部会 | 5月9日 | 喜久鮎 | 9名 |

[全日本プラスチック製品工業連合会]

▼技能検定推進委員会(ホテルメトロポリタン)

- (1)第8回技能検定にかかる情報交換会
- (2)平成24年度事業報告・決算、平成25年度事業計画・予算案
- (3)実技試験の円滑・公正な実施に係る情報交換
- (4)その他

▼第52回通常総会

6月6日（東京會館）

〈詳細は本文記事参照〉

プラスチック用産業合理化機器メーカー
NAKAMURA
中村科学工業株式会社

本社工場 Head office & Factory 東京支店 Tokyo branch
〒444-0951 愛知県岡崎市北野町字原庄101 〒192-0054 東京都八王子市小門町8-37
TEL(0564)31-2919 TEL(042)620-5466
FAX(0564)31-9435 FAX(042)620-5461
URL <http://www.nakamurakagaku.co.jp/>

愛知県プラスチック成形工業組合が平成2年に設立した
ゆたかな老後の生活を守る

愛知県プラスチック成形厚生年金基金

名古屋市中区新栄町2丁目13番地
(栄第一生命ビル)

TEL(052)953-8411
FAX(052)953-8417